



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター
Newsletter No.29 (2007.8.3)



英語教育改革！ 「英語演習」 潜入レポート



今年度から自習型のCALL英語集中（以下CALL）が全学部1年生の必修となりました。そのため、語学センター自習室はCALLを受講する学生で毎日賑わっています。CALLが全学部必修となったことで、これまでの英語カリキュラムにはある変化が訪れました。それは、スピーキング・ライティングを重視した少人数による英語演習の導入です。そこで、どのように授業が行われているのか、潜入レポートをしてきました。

目次：	
「英語演習」 潜入レポート	1
トンネル版 aQ 直伝 (3)	2
ミニコラム：	
情報科学研究科 石渡先生	3
デジタルラボ：Web上のOffice	3
芸術学研究科大学院生	
英語学習法	4

語学センター・語学教務員 伊達 美和子

● 気分は海外！？ 生き生き「英語演習」 ●

今年度から新たに始まった英語演習。クラスは3つのレベル別で構成され、1クラス約15名で行われています。今回私がレポーターとして参加させてもらったクラスは、非常勤講師糟屋美千子先生が担当する国際学部1年生のadvancedクラス、国際学部と芸術学部1年生混合のupper intermediateクラス、情報科学部1年生のupper intermediateクラスです。一体、どんな授業が行われているのでしょうか！？



国際学部の学生17名からなるadvancedクラス（写真左）。この日のテーマは、「日本人は集団主義者(more collectivist)か、個人主義者(more individualist)か」というもの。抽象的な難しいテーマにも関わらず、各学生は自分なりの意見を英語でディスカッションし、90分間英語が止むことはありませんでした。まさに海外の語学学校の雰囲気が漂っており、日本人だけのクラスとは思えないほど英語熱で満ちていました。

国際学部と芸術学部の学生が混ざったupper intermediateクラス（写真右）。このクラスでは、「どこに住んでいますか？」などの身近な話題を使ったテーマを中心に、ペアワークや発表、さらには通訳ゲームが行われていました。積極的に会話に参加できる授業内容に、学生も一言でも多く英語を話そうとしており、授業を楽しんでいる姿が印象的でした。



情報科学部のupper intermediateのクラス（写真左）。男子学生のみ16名のクラスです。この日は、前回宿題になっていたライティングタスクをペアになって発表するという内容でした。発表後は、互いに英語で質問し合うなど、テンポのいい授業展開で学生は終始生き生きとしていました。また、話すときの目線、表情なども英語流？を実践し、英語でのコミュニケーションをとる楽しさが伝わってくる授業でした。

● 「楽しさ実感」 学生の声 ●

国際学部 1年生 猪谷裕美子さん

英語圏に留学に行きたいということが、英語学習の原動力になっています。英語演習はAll Englishで行われるので、英語が伝わる楽しさを実感できます。街角で外国人から英語で道を聞かれた際に、すぐに答えることができたとき、とても嬉しく思いました。

芸術学部 1年生 塚田愛実さん

とにかく、英語で話す機会があつて楽しいです。最初は英語で話すのが恥ずかしかつたけど、実際に声に出すと刺激になります。在学中にイタリアへの留学を考えていますが、現地の人と交流し何かを伝えたいという気持ちで、英語やイタリア語をもっと勉強しようという気持ちにさせてくれます。

情報科学部 1年生
明谷秀介さん、小林直史さん

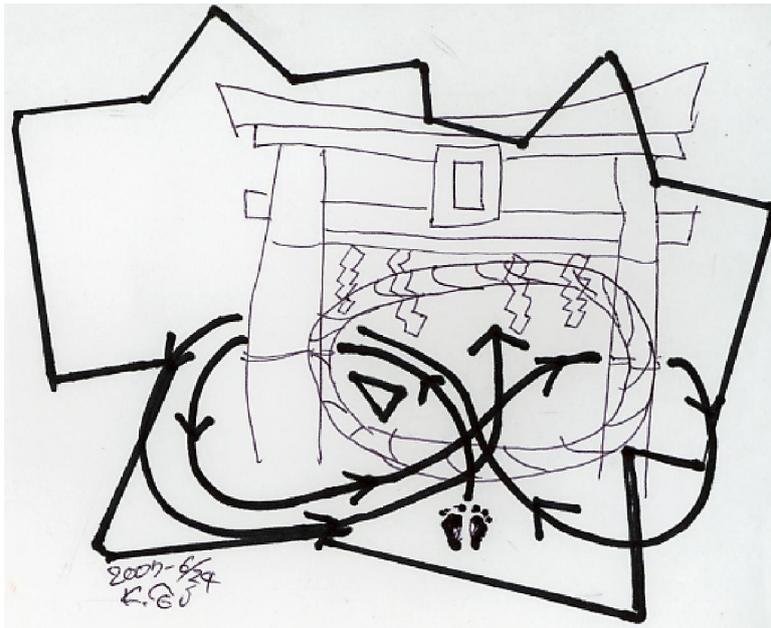
英語演習を通して話すことの楽しさを知り、授業にも積極的に参加しています。ライティングの宿題もやりっぱなしではなく、授業のなかでペアを組んで質問のやりとりをするので、達成感があります。TOEIC試験の得点アップに繋がれば嬉しいです。

トンネル版aQ直伝 (3)

カラスが一斉に飛びたつ

東京のQくんからのメール。——受かると思っていた試験に落ちました。思い浮かぶのはこんな話。

尊敬する手塚治虫にあやかかって「足塚茂道」というペンネームの漫画家志望青年の2人組が富山県高岡から上京した。数年のち、足塚は比較的 success し、凱旋という気分になり帰省。故郷での生活に甘え、のんびりしすぎて連載原稿のメ切に遅れ雑誌に穴をあけてしまった。再度上京、お詫びにまわったが出版社は相手にしてくれない。やめるしかないか。親しく面倒を見てくれたトキワ荘の寺さんこと寺田ヒロオに会って漫画家廃業の結論を伝えた。すると、いつも温厚な寺さんが一瞬静寂のあと、突然叫ぶ。「ばか!!」(トキワ荘の屋根の上のカラスが一斉に飛びたつ)。「君たちの漫画への情熱はそんなものだったのか!」



足塚茂道は寺さんの檄に再起を誓い、手塚をもじっただけのペンネームから藤子不二雄と名を替えて、以降ヒット作を多産していく。藤子A不二雄の『マンガ道』の熱血感涙話。

試験に失敗して次なる道を模索する自分に寺さんの一喝、「情熱はそんなものだったのか」との問いかけは尾を引くのですが。

試験を終えて帰省の際、京都で途中下車しました。かねてから行ってみたいと思っていた吉田山の上の真如堂という小寺に参拝したのです。その時ひいた御神籤は凶で、「去往心無定、行蔵亦未寧」(去るべきか行くべきか心は定まらず、出処進退においても安らかでない)と書いてあった。そのときは女性関係のことだろうと思っていたのです。今になってこの御託宣は試験結果を予告していたのだと覚りました。

進むべき道の打開に無策の折、うらないやまじないについて気が向いてしまうのが凡夫のさが。試験結果判明のあと、手相はどうかと思って、浅草の手相師に値段を聞きました。「二千元。学割無し」というのでやめました。「手相の勉強をしているのですがァー」と声をかけてくる怪しい宗教団体(広島にはいませんか。東京ではいまけっこう有名です)が駅前を徘徊しています。巢鴨駅前

でその一員に冷やかし半分で診てもらいました。「はァー、心の優しい方なんですネェー」などと言いながらだんだん変な感じになってきました。

広島母親は「交通事故と武富士には気をつけろ」と、来る手紙のたびに繰り返していますが、身のふり方に自信のない、不安な青年子女のためには、うらない・まじない・新興宗教にも要注意だと我が身に照らして自戒します。

元気ちゃー元気ですがしばらくは心はずむ話とは縁がないみたい。時至って恵みあるべし。今は励むべし。良い話ほとんどないという報告です。

Qくんへの返信——自力で自主自立、ではあるが自分だけではどうにもならぬことがこの世にあるのは自明。きみの不景気な報告の隠された主題は女性関係ではないかとも揣摩憶測するが恋愛は

相手のある話だし。宗教的な敬虔さは大切だがあてもない神仏の加護にたよるより、信頼できる確実な対象に正面から向きあって、逃げないための地歩をたゆまず築きたいものだ。

この時季この地域の総鎮守ニホヒメ神社が齋行するナゴシのハラエ(夏越祓)の案内が来た。「罪、ケガレ(気枯れ:心身ストレス、怠慢生活など)のお祓い。氏名を書いて息を3回吹きかけたヒトガタと玉串料を納め参拝する。夏の健康と五穀豊穰、世界平和、それにQくんの開運成就も祈願しておこう。カラスが一斉に飛びたつほどに叱ってくれる寺さんのような人のことは最近とんと聞かないね。靖国派の妄動(軍事、教育…)に全身総毛立つ思いは別に、在所の祭礼にはなごやかな気持ちになりたい。次は「拾遺和歌集・読人不知」とある、ニホヒメのお誘い状に掲載の一首。長生きが一番。

水無月のなごしの祓する人は
ちとせのいのち延ぶというなり

(素芸院執告祭)

「相槌」

情報科学研究科 石渡 孝



10年ほど前、日本学術振興会の日独学术交流の一環として、ブラウンシュヴァイク工科大学に3週間ほど滞在したことがある。大学のある街はベルリンとハノーファーの間にある人口25万人程の都市で、本学の芸術学部と交流のある美術大学もある。滞在中は、受け入れの先生のお世話で大学から徒歩で20分ほど離れたところにあるゲストハウスに宿泊したが、その建物は中世風のがっしりとした石造りであった。聞けば、第二次世界大戦でこの地域の建造物はほとんど破壊されたが、この建物に限らず、元通りに再建したものも付近に多いとのことだった。大学に通う道すがら、古い教会や石畳みを修復する作業が街の所々で見られ、自国の文化や風土を大切にしているドイツ人の生活感を目の当たりにしたことを忘れることができない。

滞在期間中、大学で2年間習ったドイツ語は全く役に立たなかったが、幸い大学に限らず街中でも英語でことが足りた。私が話すと、「あっそー」、「あっそー」と相手が相槌を打ってくれる。日本語が話せるのかと尋ねると、ドイツ語では“Ach so!”となり、発音も意味も日本語とほぼ同じだと教えてくれた。食事時などの談笑中、私がまねて「あっそー」と相槌を打つのだが、自分の口から出るドイツ語がこれだけなのは少々残念であった。以来、事前に訪問国の言語を勉強し、意思疎通を図りたいという願望を持ち続けているのだが。

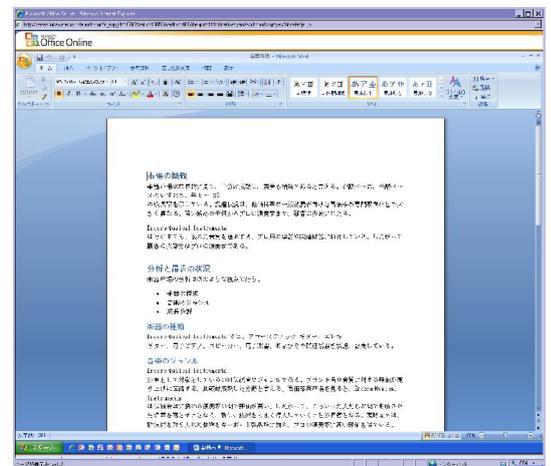
楽々デジタルラボ 其の二

ここまで来た！ Web上のOffice系ツール

語学センター・語学教職員 堀本 真由美

◆ Office 2007 オンライン

ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトを含むMicrosoft Officeの最新バージョンは、Microsoft 2007 Office System (以下、2007)です。旧バージョンまでのファイル形式「.doc」(Word)、「.xls」(Excel)、「.ppt」(PowerPoint)が、それぞれ「.docx」、「.xlsx」、「.pptx」に変更されたため、語学センター内でも「自宅の2007で作成したファイルが開けない」という相談がありました。2007で作成したファイルを旧バージョンのMicrosoft Office系アプリケーションで開くには、(1) 2007でファイルの保存時に旧バージョンの形式で保存する、または(2) 旧バージョンを使用しているパソコンに「Word、Excel、および PowerPoint 2007 用ファイル形式互換機能パック」をインストールする (<http://office.microsoft.com/ja-jp/products/HA101686761041.aspx>)、という二つの方法があり、語学センターでは(2)で対応しています。



◆ InternetExplorer 内に表示されたWordで作業

この2007はMicrosoftのサイトから試用版が利用できます。注目なのは、2007をインストールすることなく11ものツールをWebブラウザ上で表示して使用できる、というオンライン版です (<http://office.microsoft.com/ja-jp/products/default.aspx>)。このオンライン版は同インストール版と操作面でも遜色がなく、成熟したOfficeスイートがブラウザ上に見事に実現されているのは意外な驚きでした。Office系の既存のオンラインツールには、Google Docs & Spreadsheets (<http://docs.google.com/>) やThinkFreeでがるオフィス (<http://www.thinkfree.co.jp/>) などがあります。無料で基本的なOfficeツールが提供されており、共同作業ができる、何よりいつでもどこでも利用できる、などのメリットがあるのですが、Microsoft Officeツールとの互換性に完全を求めることはできません。基本機能が十分という場合や、メリットを生かした使い方をする場合には便利です。

◆ 充実の無料サービス“ZOHO”は、Office系+α

無料Office系オンラインツールで関心を引きかけたのは、ZOHO (<http://www.zoho.jp/index.html>)です。こちらは、製品として成熟してきたMicrosoft Officeとは対照的に、この6月に日本語サービスが開始されたばかりです。一部のツールに使用制限があるものの基本的に全て無料で、Microsoft OfficeやOpenOffice.orgとの互換性もあります。ファイル共有やHTML・PDFでのファイル保存もできるワープロ・表計算ツール、多数に同時リモートプレゼンテーションができるプレゼンテーションツールを始め、オンラインデータベース構築ツールやパソコンからの直接録画を含め、マルチメディアデータのスクラップが可能なノート、グループ使用が可能なメール、Webに組み込みできるチャット、デスクトップの共有やリモートができるミーティング、共同作業に便利なWikiなどの12ツールに加え、投票・集計や試験問題作成・運営・採点が可能なユーティリティが提供されています。YouTubeが米大統領選に一役買う昨今、Web上のサービスの活用・活性傾向が感じられます。GoogleEarthで眺めてみれば、市立大学の衛星写真にはキャンパス写真がいち早くアップロードされていました。

*「楽々デジタルラボ」のプラットフォームはWindows XPです。

芸術学研究科 大学院生による 英語学習法！！

ハワイ大学留学まで

芸術学研究科 絵画専攻 山本恭平さん



日洋展優秀賞作品と山本さん

作品制作と英語学習を両立するために英語を生活の中に取り入れました。芸術学部生は膨大な制作時間が必要なため、学習時間をとるのに苦労します。制作と学習の時間をきちんと区切れば良いように思われますが、時間に拘束された作品制作は気持ちにゆとりが持てず、努力が逆効果になってしまうことが多かったです。

そこでやり始めたのが語学センターで貸出し可能な英語入門レベルのテキストでした。1日1ページずつCDの発音とリズムを手本に文章を丸暗記し、英語をかたまりで音読できるようにしました。内容が簡単だから時間がかからず、歌を覚える感覚に似ていて苦にもならないので長続きしました。これを半年程続けていると生活の中で、テキストの内容と同じ状況に出くわすことがあり、覚えた文章がぱっと口に出てくるといった体験をするようになりました。期間が長くなる程その頻度も徐々に増え、英語が生活の中に染み込んでいく感覚があったのを思い出します。

これに加えてDVD鑑賞が助けになったと思います。長期休暇中などに語学センターのDVD教材でよく映画鑑賞をしました。見えそうな表現があれば映画を止めてメモし、通学時間などの空いた時間で覚えるようにしました。すると映画のストーリーや映像が助けになって、比較的簡単に覚えられたように思います。留学中にはこの方法で覚えた英語が、映画の場面と一緒に頭に浮かぶ事がしばしばありました。

制作と英語学習を両立するためには、この学習法で英語に慣れることが大事なポイントであったように思います。またTOEFL/TOEICの点をあげるにしても、留學生活を成功させるにしても、これが基礎になっているのだと思います。効率的で無理せずできるので、これは絶対にお勧めの学習法だと思います。

*山本さんは芸術学部では初めて本学からの派遣留学生としてハワイ大学マノア校に留学(2005年1月～2006年1月)しました。

雑誌・DVDを利用しよう

*利用方法については、語学センターのカウンターで尋ねてください。



雑誌について

語学センターでは『NHK徹底トレーニング英会話』などの語学学習テキストを自習室に取り揃えています。一人2冊、1ヶ月間の貸出を行っているので、夏休みを利用してどんどん活用してください。また、6月より『英会話入門』『多聴多読マガジン』も新たに入荷しています。特に、『英会話入門』は語学センタースタッフのお勧めです。



DVDについて

2007年度は、自習室で学生から映画DVDのリクエストを随時行っています。現在、リクエストで募ったタイトルは数十点入荷され、語学センターで視聴することができます。DVDは自習室でのみの視聴となりますが、雑誌と合わせて夏休み期間を利用し、語学センターにあるDVD視聴制覇を目指してくださいね。



視察報告

- 4/27 安佐北中学校 80名
- 5/16 瀬戸内高校 23名
- 6/12 山口県立高森高校 40名
- 6/21 安芸南高校 42名
- 7/3 海田高校PTA 30名
- 7/10 広陵高校 29名
- 7/11 安芸府中高校 51名



高森高校視察風景

「きれい」
「CALLプログラムで
力がつきそう」

発行日 2007年8月3日
発行 広島市立大学語学センター
〒731-3194
広島市安佐南区大塚東3-4-1
編集 堀本真由美
伊達美和子(内線:6410)
Phone (082)830-1509
Fax (082)830-1794
E-mail lang@intl.hiroshima-cu.ac.jp
ホームページ
<http://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html>